

平成25年7月3日  
独立行政法人 防災科学技術研究所

# 日本海溝海底地震津波観測網の海底ケーブル敷設工事を 千葉県房総沖で開始

— 完成後は、海溝型地震と津波を直接検知、精度の高い  
迅速な津波警報や地震速報の高度化に貢献 —

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長：岡田義光)は、平成23年度から、文部科学省地球観測システム研究開発費補助金による「日本海溝海底地震津波観測網の整備」事業を実施しています。

これまで光ケーブルと一体となった地震計と津波計の観測装置の開発・試験・製造及び海底の敷設ルートの調査・調整を進めてきており、今般これらの準備が整ったことから、7月9日より千葉県房総沖における海底ケーブル敷設工事を開始します。

あわせて、7月9日に千葉県房総沖海底ケーブル敷設工事の着工式及びケーブル陸揚げ作業の一般見学会を行います。

1. 日時：平成25年7月9日(火)
2. 工事箇所：千葉県南房総市白浜町滝口 5580-113
3. 工事作業時間：午前5時～午後3時の予定
4. 着工式(参考2参照)  
南房総市白浜フローラルホール(南房総市白浜町滝口 6767-1)  
10時～を予定、観測装置のカットモデルを展示  
着工式を取材される場合、事前にアウトリーチグループにご連絡ください  
工事現場に移動しての見学も予定しております  
終了後プレスからの質疑応答の時間を設けます

5. 一般見学会（参考2参照）

工事箇所：千葉県南房総市白浜町滝口 5580-113

13時～15時は説明員が待機

※悪天候等による工程の都合上、実施日時が変更される場合があります。

6. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

**【全般に関する連絡先】**

独立行政法人防災科学技術研究所  
アウトリーチ・国際研究推進センター  
アウトリーチグループ  
三好、大石  
電 話：029-863-7768  
F A X：029-851-1622

**【事業内容に関するお問い合わせ】**

独立行政法人防災科学技術研究所  
地震・火山防災研究ユニット  
海底地震津波観測網整備推進室長  
金沢 敏彦  
電 話：029-863-7524  
F A X：029-863-7894

## 千葉県房総沖で海底ケーブル敷設工事を開始 (日本海溝海底地震津波観測網の整備事業)

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光、以下、防災科研）は、平成 23 年度から文部科学省地球観測システム研究開発費補助金による「日本海溝海底地震津波観測網の整備」事業により、東北地方の日本海溝・千島海溝南部に沿ってケーブル式の地震計・津波計からなる観測点を高密度に配備し、リアルタイムの連続観測を行う海底地震津波観測網の整備事業を実施しています（平成 24 年 3 月プレス発表資料、[http://www.bosai.go.jp/press/2011/pdf/20120329\\_01.pdf](http://www.bosai.go.jp/press/2011/pdf/20120329_01.pdf)）。

これまで、ケーブル敷設のための構造探査・海洋調査とケーブルルートを選定、光ケーブルと一体となった地震計と津波計（水圧計）で構成される観測装置（観測ノード）の開発・試験・製作を行っており、7月9日から千葉県房総沖で海底ケーブルの敷設工事（海底ケーブルの陸揚げ作業）を開始します。

### 1. 観測網の概要

観測網は観測装置と海底ケーブル及び陸揚げ局（地上局）からなり、太平洋岸沖の5つ海域と日本海溝の海溝軸外側（アウターライズ）に、順次整備予定です（図1）。観測装置は地震計（速度計、加速度計）と津波計（水圧計）等で構成され、水深 8000m まで設置可能な耐圧容器に収納されます（図2）。

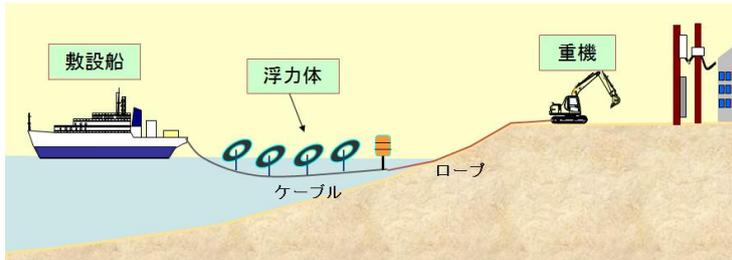
観測網は各観測点のデータは光ファイバー海底ケーブルで2つの陸揚げ局（地上局）に双方向伝送され、さらに陸揚げ局から地上通信回線網でデータセンター（防災科学技術研究所、気象庁等関係機関）に送信されます。

これにより、地震と津波のリアルタイム・連続観測・監視に役立てられ、海溝型地震と津波を直接検知することができ、精度の高い迅速な津波警報や地震速報の高度化に貢献されます。



## (参考1) 海底ケーブルの陸揚げ作業の概要

今回のケーブル陸揚げ作業は敷設船「すばる」を使用します（総トン数 9,557 トン、全長 124m）。敷設船を沖合に固定しケーブル末端を繰り出し、陸のロープと接続し、浮力体（ブイ）を付けたケーブルを重機により引込み陸揚げします（以下の工程参照）。



陸揚げ日の詳細スケジュール（天候、工程の都合上、変更の可能性があります）

05：00～06：30 気象判断・ミーティング・船固（微修正）開始

07：30 船固終了・陸揚開始

ケーブル先端汀着（10:00 前後の予定）

BMH（ビーチマンホール）必要長確保・仮ストッパー取付

ダイバーによるルート修正開始

試験準備（口出・コード接続）

12：00 陸揚後試験

14：00 ルート修正終了

15：00 船固解除・敷設開始

(参考2) 着工式及び一般見学会

着工式

- ・日時：平成25年7月9日(火)10時から
- ・場所：南房総市白浜フローラルホール  
(南房総市白浜町滝口 6767-1)
- ・交通案内：参考3
- ・着工式を取材される場合、事前にアウトリーチグループにご連絡ください
- ・工事現場に移動しての見学も予定しております
- ・終了後プレスからの質疑応答の時間を設けます

一般見学会

- ・日時：平成25年7月9日(火)  
(13時～15時は説明員が待機)
- ・場所：千葉県南房総市白浜町  
滝口 5580-113
- ・交通案内：参考3



### (参考3) 交通案内

#### 白浜フローラルホール

所在地 千葉県南房総市白浜町滝口 6767 番地 1

電話 0470(30)5000 ファクス 0470(38)5400

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000001873.html>



(着工式の内容に関するお問い合わせは防災科研にお願いします)

#### 交通アクセス

- ・電車 JR 内房線 特急さざなみ 【東京】駅～【館山】駅(約1時間45分) 乗り換え →JRバス【館山】駅～【花の南望】バス停(約30分) 下車、南へ徒歩約5分 (館山駅からタクシーで30分)
- ・高速バス JR「房総なのはな号」で【東京】駅～【安房白浜】駅(約2時間45分) 下車、西へ徒歩約25分 ([https://www.kousokubus.net/PC/BPWS113\\_00.aspx?key=2223150](https://www.kousokubus.net/PC/BPWS113_00.aspx?key=2223150)) 京成および日東「南総里見号」で【千葉】駅～【白浜・野島崎】駅(約2時間20分) 下車、西へ徒歩約8分
- ・自動車 東京から東京湾アクアライン経由→館山道→富津館山道→富浦インターチェンジ→国道127号線館山方面→国道410号線白浜方面(約1時間30分)

#### 工事箇所

所在地 千葉県南房総市白浜町滝口 5580-113 地先

白浜フローラルホールから約2km。

国道410号線沿い白浜運動公園傍に駐車場。工事現場は自転車道寄りの海岸。

